

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取組による町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-1	・農業分野での挑戦

	課	係
主管課・係	農林課	農政係
関係課・係	商工観光課	商工振興係
	農林課	農林土木係
	農林課	林政係
	各総合支所振興課	農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①農業が盛んになり、農業のみで生活する若者が増えている。 ②地産地消が推進され、農業製品のブランド化が推進される魅力的な産業になっている。 ③農業を志す人が就農しやすい環境が整備されている。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①農業を専業とする若者の増加。 ②重点振興作物の栽培面積の増加。 ③農業収入の増加。</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 新規就農者数(累計)</td> <td>人</td> <td>69</td> <td>73</td> <td>75</td> <td>78</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>B 認定農業者数</td> <td>人</td> <td>116</td> <td>110</td> <td>140</td> <td>110</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>C 農業収入平均額</td> <td>千円</td> <td>2,499</td> <td>2,927</td> <td>2,700</td> <td>3,031</td> <td>2,700</td> </tr> <tr> <td>D 重点振興作物栽培面積</td> <td>ha</td> <td>59.6</td> <td>56.6</td> <td>74.8</td> <td>51.5</td> <td>74.8</td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	A 新規就農者数(累計)	人	69	73	75	78	75	B 認定農業者数	人	116	110	140	110	140	C 農業収入平均額	千円	2,499	2,927	2,700	3,031	2,700	D 重点振興作物栽培面積	ha	59.6	56.6	74.8	51.5	74.8	
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度																																	
	実績値	実績値		目標値	実績値	目標値																																			
A 新規就農者数(累計)	人	69	73	75	78	75																																			
B 認定農業者数	人	116	110	140	110	140																																			
C 農業収入平均額	千円	2,499	2,927	2,700	3,031	2,700																																			
D 重点振興作物栽培面積	ha	59.6	56.6	74.8	51.5	74.8																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ② 上回った</td> <td>町で行っている新規就農者への支援制度により、花きで1人、南郷トマトで4人の就農者が増えた。</td> <td>① 既に目標クリア</td> <td>令和4年では既に2人が就農している。</td> </tr> <tr> <td>B ⑤ 大きく下回った</td> <td>高齢や離農を理由に5年ごとの再認定を受けない農家が増えている。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>再認定の申請をしない農家が増えているため。</td> </tr> <tr> <td>C ② 上回った</td> <td>園芸作物の市場価格が高値で取引されたことから、平均額が増加した。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>天候や新型コロナウイルス感染症の影響等がなく、収量や市場価格が安定できれば達成は可能である。</td> </tr> <tr> <td>D ⑤ 大きく下回った</td> <td>高齢化・担い手不足により栽培面積が減少している。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>新規就農はあるものの離農や規模縮小により栽培面積の減少が進んでおり、目標達成は困難である。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ② 上回った	町で行っている新規就農者への支援制度により、花きで1人、南郷トマトで4人の就農者が増えた。	① 既に目標クリア	令和4年では既に2人が就農している。	B ⑤ 大きく下回った	高齢や離農を理由に5年ごとの再認定を受けない農家が増えている。	④ 達成は困難	再認定の申請をしない農家が増えているため。	C ② 上回った	園芸作物の市場価格が高値で取引されたことから、平均額が増加した。	② このままで達成可能	天候や新型コロナウイルス感染症の影響等がなく、収量や市場価格が安定できれば達成は可能である。	D ⑤ 大きく下回った	高齢化・担い手不足により栽培面積が減少している。	④ 達成は困難	新規就農はあるものの離農や規模縮小により栽培面積の減少が進んでおり、目標達成は困難である。	<p>5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																				
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ② 上回った	町で行っている新規就農者への支援制度により、花きで1人、南郷トマトで4人の就農者が増えた。	① 既に目標クリア	令和4年では既に2人が就農している。																																						
B ⑤ 大きく下回った	高齢や離農を理由に5年ごとの再認定を受けない農家が増えている。	④ 達成は困難	再認定の申請をしない農家が増えているため。																																						
C ② 上回った	園芸作物の市場価格が高値で取引されたことから、平均額が増加した。	② このままで達成可能	天候や新型コロナウイルス感染症の影響等がなく、収量や市場価格が安定できれば達成は可能である。																																						
D ⑤ 大きく下回った	高齢化・担い手不足により栽培面積が減少している。	④ 達成は困難	新規就農はあるものの離農や規模縮小により栽培面積の減少が進んでおり、目標達成は困難である。																																						
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者への研修及び就農後の経営が安定するまでの経営支援の実施。 ・重点振興作物の産地維持・拡大のための種苗や資材等の購入経費の補助を実施。 ・有害鳥獣による農作物被害軽減のための対策の実施。 ・生産性向上のための基盤整備事業等の実施。 																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画策定にあつては各生産部会代表者や農業法人などから意見を聴取し、計画に反映することとしている。 ・各生産部会の総会や役員会に参加し、町への要望などを聴取している。 ・毎年3月に集落座談会を開し、町の農業施策の説明や要望などを聴取している。 																																								

【施策の振り返り】

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者数が増加した。 ・農業収入平均額が増加した。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢等の理由により離農する農家も増えており、認定農業者数、生産面積が減少している。 ・有害鳥獣被害が拡大しており、さらに有効な対策が求められている。 ・異常気象や新型コロナウイルス感染症の影響など農産物の市場価格は常に変動しており、農業所得が安定しない。
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>農業者の高齢化や担い手不足など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、国や県の施策を注視しながら、地域の実情に合った効率性の高い補助事業等の政策を検討していく必要がある。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保が最重要な課題であるため継続して新規就農者への支援と、地域の中心経営体である認定農業者への支援を重点的に実施する。 ・所得向上対策として、重点振興作物を中心に高収益作物の導入の支援を実施していく。 ・有害鳥獣による農作物被害の軽減のため、有効な対策を検討する。 ・生産性向上のための基盤整備事業等を実施する。
-------------------------------------	--

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和4年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額
01	経営所得安定対策等推進事業	農林課	目的	経営所得安定対策の推進及び加入促進を図る。		
			概要	経営所得安定対策の推進を担う南会津町農業再生協議会の経費を助成した。		
			成果	経営所得安定対策交付金の申請受付、確認事務等を行い、対象者への交付金の交付により農業経営の安定が図られた。		
		農政係	問題	特になし。		
			対策	①継続	継続して経営所得安定対策の推進を図る。	
			事業費	4,214	5,455	4,617
02	種苗等支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するため、栽培面積の拡大を図る。		
			概要	町の重点振興作物の産地づくりを推進するため、新植及び改植を行う意欲のある農家等に対して、苗等の購入経費を助成した。		
			成果	重点振興作物の産地維持が図られた。		
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、重点振興作物栽培面積が減少しているため、新たな生産者の掘り起こしが必要である。		
			対策	①継続	産地維持のため継続した支援の実施と、新たな担い手確保の対策を検討する。	
			事業費	9,969	8,698	8,927
03	農業用資材支援事業	農林課	目的	重点振興作物の産地づくりを推進するとともに、品質・生産性の向上を図る。		
			概要	町の重点振興作物栽培に係るハウス被覆用ビニールの購入経費を助成した。		
			成果	重点振興作物の産地維持が図られた。		
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、重点振興作物栽培面積が減少しているため、新たな生産者の掘り起こしが必要である。		
			対策	①継続	産地維持のため継続した支援の実施と、新たな担い手確保の対策を検討する。	
			事業費	1,168	1,706	2,332
04	産地生産力強化総合対策事業	農林課	目的	園芸品目の生産拡大及び土地利用作物の生産効率化を図る。		
			概要	園芸施設、農業用機械等導入経費を助成した。		
			成果	園芸設備等購入経費を補助し、産地維持・拡大及び生産効率化が図られた。		
		農政係	問題	高齢等を理由に離農者が増加し、園芸作物栽培面積が減少している。		
			対策	①継続	産地維持のため継続した支援の実施と、新たな担い手確保の対策を検討する。	
			事業費	5,570	3,810	1,922
05	中山間地域等直接支払交付金	農林課	目的	国土の保全、水源かん養や保健休養など多面的機能の維持、耕作放棄地発生の防止を図る。		
			概要	傾斜等により農業生産条件の不利な地域の国土の保全、多面的機能の確保、耕作放棄地発生の防止などに取組む地区に対し補助金を交付した。		
			成果	17件の協定集落に対し交付金を支給し、耕作放棄地の発生の防止が図られた。		
		農政係	問題	本事業に取組めない地区の支援の仕方。		
			対策	①継続	単独で取組めない地区は、隣接地区への共同取組等を検討する。	
			事業費	21,523	16,202	16,202
06	新規就農者支援事業	農林課	目的	就農意欲を喚起するため、研修期間中における支援と就農後の定着を図る。		
			概要	国事業の要件を満たさない就農希望者で、重点振興作物を約20a以上栽培する農家に対して、研修業務補助金・初年度経営支援補助金を交付した。		
			成果	研修期間中の生活支援及び就農直後の経営の安定化が図られた。		
		農政係	問題	南郷トマト以外の作物での就農者が少ない。		
			対策	①継続	アスパラガスや花きでの研修体制を検討する。	
			事業費	5,629	4,409	4,524
07	農業次世代人材投資事業	農林課	目的	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。		
			概要	平成29年4月から令和4年3月までに新規就農した農業者(独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満)に対して、農業次世代人材投資資金を交付した。		
			成果	新規就農者の確保・就農初期の経営の安定化が図られた。		
		農政係	問題	交付期間内に安定した経営を確立できない就農者がいる。		
			対策	①継続	関係機関と連携し、研修から就農後の定着までのサポート体制を構築する。	
			事業費	32,696	22,106	23,967
08	多面的機能支払交付金	農林課	目的	地域ぐるみで農業用施設(排水路、農道、頭首工、ため池等)の保全管理を行い、施設の長寿命化を図る。		
			概要	地域ぐるみで行う農用地、水路、農道等の適切な管理及び農村環境保全活動に対し、補助金を交付した。		
			成果	地域活動への支援により、地区での組織化と農地、農業用施設の保全及び農村環境の保全が図られた。(田島14組織、館岩1組織、伊南5組織、南郷6組織の計26組織で実施。)		
		農林土木係	問題	本事業に取組めない地区への支援の仕方。		
			対策	①継続	単独で取組めない地区は、隣接地区への共同取組等を検討する。	
			事業費	50,019	45,265	45,122

09	県営事業負担金 (農地整備)	農林課	目的	農業生産基盤及び環境基盤の整備を通じて、中山間地域の立地条件をいかした農業と活力ある農村づくりの促進を図る。			
			概要	県営中山間地域総合整備事業(西部地区)及び県営ほ場整備事業(田部地区)に対する町負担金により事業を実施した。			
			成果	農家の労働力や維持管理の負担を軽減し、農村環境の改善による定住促進、将来的な農村の保全が図られた。			
		農林土木係	問題	未整備箇所の対応。			
			対策	①継続	他事業による整備。		
事業費	33,750	61,250	62,625	52,500			
10	農地耕作条件改善 事業	農林課	目的	食料自給率の向上、農地集積を加速し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境整備を図る。			
			概要	整備が必要な水路及び農道の新設、修繕工事を実施した。			
			成果	農業競争力が強化され、生産効率の向上が図られた。			
		農林土木係	問題	未整備地区の対応。			
			対策	①継続	他事業による整備。		
事業費	39,172	62,118	0	0			
11	集落維持発展事業	農林課	目的	地域住民が自主的かつ共同で取組む水路・農地等の農地農業用施設の維持修繕に対する支援を図る。			
			概要	水路及び取水堰の土砂上げを3集落(羽塩地区・滝原地区・川衣地区)及び獣害対策を1集落(栗生沢地区)で実施された活動に対し補助金を交付した。			
			成果	地域活動への支援により、農地等の保全及び農業経営における維持管理労力も軽減されたことから、集落の維持発展が図られた。			
		農林土木係	問題	基金を財源としているため、基金が尽きた後の財源確保。			
			対策	①継続	多面的機能支払交付金事業への取組み支援。		
事業費	355	2,135	1,095	3,468			
12	有害鳥獣被害対策 事業	農林課	目的	地区や農家等が行う被害防止対策への支援及び鳥獣被害対策実施隊による鳥獣の捕獲やパトロールを行い、農作物等の被害軽減を図る。			
			概要	地区や農家等が行う防護柵の整備等を支援し、捕獲推進のためニホンザル・イノシシ・ニホンジカを対象に捕獲報奨金を交付した。			
			成果	農作物等の被害軽減による営農意欲の向上及び地区ぐるみの対策の推進が図られた。			
		林政係	問題	農家の高齢化及び担い手不足等により当事業が活用できない地区への支援の仕方。			
			対策	①継続	防護柵整備、有害鳥獣捕獲、生息環境の整備を総合的に進めていく。		
事業費	20,471	36,053	35,705	41,457			
13	機構集積協力金交 付事業	農林課	目的	農地の有効利用や農業経営の効率化を図る担い手に対し、農地利用の集積・集約化を図る。			
			概要	農地中間管理機構の制度を活用した賃貸借契約を締結することにより、機構集積協力金を交付する。			
			成果	令和3年度は農地中間管理機構の活用はあったものの機構集積協力金の対象はなかった。			
		農政係	問題	担い手がいないなどの理由により当事業が活用できない地区への支援の仕方。			
			対策	①継続	担い手のいない地区については、他地区の担い手や法人への集積を検討する。		
事業費	4,753	4,212	0	0			
14	強い農業・担い手 づくり総合支援事 業	農林課	目的	地域の中心経営体の育成・確保を図る。			
			概要	高性能農業機械・施設等の導入経費を助成した。			
			成果	中心経営体の規模拡大や経費削減が図られた。			
		農政係	問題	特になし。			
			対策	①継続	特に稲作やそばなど高性能機械の導入を希望する担い手へ支援していく。		
事業費	0	7,962	7,705	9,916			
15	強い野菜産地拡大 特別対策事業	農林課	目的	アスパラガス・トマトの産地拡大を図る。			
			概要	パイプハウス等導入経費を助成した。			
			成果	栽培面積を増加する農家の施設導入に係る負担軽減と産地維持・拡大が図られた。			
		農政係	問題	令和3年度で廃止。			
			対策	③廃止			
事業費	0	7,121	8,765	0			
16	★ 新規就農者育成総 合対策事業	農林課	目的	次世代を担う農業者の経営発展に資する取組に対しての支援や就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。			
			概要	令和4年4月以降に新規就農した農業者(独立・自営就農時の年齢が原則50歳未満)に対して、新規就農者育成総合対策事業(経営開始資金)を交付する。			
			成果				
		農政係	問題				
			対策				
事業費	0	0	0	4,500			
事業費の合計(千円)			229,289	288,502	223,508	220,575	